

注目商品が目白押し

27⁹カ国 社 日本未入荷の商品紹介



日本アセアンセンターは20日から22日までの3日間、東京・新橋にある同センターの展示場アセアンホールで「ASEANの食品2009」商談会を開催した。会場には日本未入荷の商品を携えた9カ国の有力企業27社が参加、訪れたバイヤーたちと熱心に商談を繰り広げた。

①「天国からの果実」GACフルーツを出品したバックギャン・フードスタッフエクスポート社のグエン・スイ・スー・トラン氏
②「ハヤシのシロップ」はマイルドな味わい。シャンモーミエ社のニャン・リン氏

を含むノンジュースとオオギヤシの樹液から取ったシロップ「バガンフード」を出品した。シロップの味わいは黒砂糖に似ているが、サラツとしていてしつこさはない。現地ではその性質を生かし、甘味料として多様な用途に使

われている。

同社の営業部長ニャン・リン氏は「無農薬で育てた椰子から樹液を採取しているの、安全性には自信がある。サトウキビとはひと味違うマイルドな黒糖シ

ロップを試して欲しい」と述べた。

フシカ・カンパニー(ベトナム)は、養殖魚バサの冷凍フィレを出品した。同



社の営業部長ローラ・ダン氏は「バサはくせのない味が特徴の自身魚で、東南アジアではとてもポピュラーな商品だ。当社はHACCP、ISO9001を取得し、しっかりと管理した養殖池で生産している。日本市場は海魚を重視するが、バサを一度味わって欲しい。必ず満足いただけるはずだ」と自信を寄せた。

③肉骨茶を出品したヨロ・ヒヤップセン社のメイ・ニヤムさん(左)、ウォン・リー・インさん
④「ハヤシのシロップ」はマイルドな味わい。シャンモーミエ社のニャン・リン氏